

第 10 回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成 18 年 5 月 30 日（火）

午後 1 時 30 分から

場 所：第一庁舎 8 階 第一委員会室

（ 1 ）基本計画たたき台（教育関係）について

<基本施策 4-2-1>

- 作業部会長 ・ 前回、基本施策 421 まで進めたが、最後、十分に時間が取れなかったの
で、再度、基本施策 421 から進めたいと思う。
- 作業副部会長 ・ 施策 421-02 主な取組の 2 点目について、助詞の使い方を「学習成果を發表する機会・・・」とした方が良いかと思う。
・ 施策 421-01 の主な取組に、図書館のサービス機能の充実と分館設置計画の推進とあるが、財政的な観点や選択と集中ということを考えると、今あるものを充実させていくことが必要かと思うが、分館設置計画の推進という記載がされていて良いのか。
- 専門部会員 ・ 確かに、財政的に厳しい状況下にあるが、昨年度開催した図書館分館設置検討委員会で、2 館程度は必要ではないかとの意見があったので進めていきたいと思っている。
- 作業部会長 ・ 学校図書館と公共図書館、あるいは学校図書館同士のネットワーク化に関する取組は図書館のサービス機能の充実に含まれているのか。
- 専門部会員 ・ 現段階では、学校図書館を含めたネットワーク化が可能かどうかは、なんとも申し上げられる状況にないが、そのような方向で検討していきたい。
- 作業部会員 ・ 移動図書館が盛況だと聞いているが、図書館分館を設置することで移動図書館の取組への影響はあるのか。止めてしまうということのないようにしていただきたい。
・ 県立図書館は 9 時、信大教育学部は 9 時 30 分に開館しているが、市立図書館は 10 時と遅い。朝早くから高齢者を中心に並んでいるが、大変なことである。昨年から 15 分早めて開館しているが、夏場だけでも、開館時間をもう少し早めてほしい。
- 作業副部会長 ・ 今回の論点とは違うかと思うが、指標目標として数値化していくにあたって、前回（第三次）では図書の貸出冊数としているが、このような項目の場合、例えば、一人当たりの貸出冊数の限度を 10 冊から 20 冊に増やせば貸出冊数はすぐに伸びる話である。もっと違うもの考えた方が良いと思う。
- 作業部会長 ・ 図書館に関する意見については、今後の事業展開にいかして頂くということで、よろしくお願ひしたい。

- 作業部会員 ・ 施策 421-01 は、示されたもので言い尽くされていると思うが、主な取組の 1 点目にある生涯学習センターについては、これから展開される取組なので、今後どのようなものになるかイメージができない。生涯学習センターが担う役割や機能が分かるようにした方が良い。
- ・ 「公民館」という言葉は、市立公民館と地域公民館の両方を指しているのか。地域の生涯学習に関わっていく者にとっては、地域公民館の役割は大きいので、今後のビジョンが分かるようにもう少しクローズアップされてこないかと末端まで生涯学習が活性化していかないと。具体的に書かなくても、バックデータとして必要かと思う。
- 事務局 ・ 現段階では、市立と地域公民館の両方を公民館という言葉に包含しているが、素案化する段階で、肉付けして誰が読んでもイメージできるように表現していきたい。
- 作業副部長 ・ 生涯学習センターには、もう少し一言添えたほうが良いかと思う。
- <基本施策 4-3-1>
- 作業部会員 ・ 基本施策 431 の方針にある「世界に発信する」という表現は唐突過ぎるかと思う。ここに「世界」とくるのは違和感がある。「発信力を高めることで」などの表現としたらどうか。
- ・ 施策 431-01 の主な取組にある「“ながの”文化」とはどのようなものなのかイメージがはっきりしない。伝統的な文化と新たな文化が車の両輪となるのが大切なので、「ながのの（風土に基づいた）伝統文化と新しい文化の効果的な発信」あるいは「“ながの”独自の文化」というような表現としたらどうか。
- 作業副部長 ・ 施策 431-02 の目標に「後世へ継承する」とあるが、遠くに感じる。5 年間という短期の計画の中では「次世代へ継承する」とした方がいいかなと思う。
- ・ 質問になるが、世界遺産へ登録するには条件などかなり厳しいものがあると思うが、善光寺の世界遺産登録の可能性はどのような状況なのか。
- 作業部長 ・ 基本施策の方針の表現についていかがか。
- 事務局 ・ 善光寺の世界遺産登録も考慮しての表現であるかと思うが、ご意見としてお伺いして検討したい。
- 専門部会員 ・ “ながの”文化という表現に関しては、委員さんがおっしゃる内容を簡略化して書いているので、今後検討したい。
- 専門部会員代理 ・ 431-02 の目標の表現については、次世代とした方が時間的つながりとしてイメージが掴み易いので適切かと思う。
- ・ 善光寺の世界遺産登録に関しては、現在、「善光寺世界遺産登録を進める会」が民間レベルである。市の取組としては、院や坊を中心に重要伝統的建造物群指定に向けて整備を進めているところであるが、まずは重要伝統的建造物群（塩尻市の平沢地区や上田市の海野宿などが指定されている）に指定されることが、第一のステップとなる。実際に世界遺産に

登録されるには、その他にも要件が沢山ある。

- 作業部会員
専門部会員
- ・施策 431-02 の主な取組にある「公文書の活用」とはどのようなことか。
 - ・現在、公文書館の設置に向けて事業を進めているところであるが、長野市の歴史がわかるように、行政資料を記録として残していくものである。公文書館では、図書館のように市民の方に閲覧していただけるような施設とするように考えている。また、行政としても、参考に使用していくこともある。
- 作業部会員
専門部会員
- ・市誌を編纂した時に活用した資料も入るのか。
 - ・そのとおりである。市誌編纂資料も含め、合併町村の資料についても収集を進めているところである。
- 作業部会員
専門部会員
- ・市民としては、どんな形で活用されるのか、（公文書館が）どこにどんな風にできるのかわかるように記載されるとありがたい。
 - ・参考として申し上げるが、昨日、市民の方も含めた準備委員会を立ち上げたところであり、今後内容について検討していくところである。
- 作業部会員
専門部会員
- ・生涯学習センターと同じように、公文書館ということを出していった方が分かり易いかと思う。
 - ・施設の名称については未定であり、今後委員会で決めていく予定となっている。
- 作業部会員
- ・施策 431-01 の目標に「個性と魅力ある市民文化」とある。「市民」としているところが大切なところで、これがキーワードになっているかと思うが、具体的にはイメージできないので、この裏づけとなるものを主な取組に入れていく必要があるかと思う。例えば「“ながの”文化」としていているところを、イメージが湧くような表現としていったらどうか。
- 作業部会長
- ・長野市には、国内外で活躍されているすばらしい芸術家がいるが、市内ではあまり取り上げられていない。そのような人々を子どもたちにも知ってほしいと思う。
 - ・文化に関しても、生涯学習という大きな中で捉えていってもらえたらと思う。
- 作業部会員
- ・施策 431-02 の目標の冒頭に「市民と一体となり」とあるが、行政が偉そうな感じがしてこの表現では違和感がある。
- 作業部会長
作業部会員
- ・言葉の表現については、事務局でも検討してもらいたい。
 - ・今回の計画見直しの 1 つの要因として市町村合併もあると聞いている。合併によって新たな文化が加わったかと思うが、第三次の計画と比べて、そのあたりの表現についてはどうか。
- 作業部会員
- ・地域の文化は地域で守っていかないといけない。重要なのはそれを発信していくことだと思うので、このような表現で良いかと思う。

< 基本施策 4-4-1 >

- 作業部会員
- ・施策 441-01 の目標の「いつまでも」は何を指しているのか。
- 作業副部長
- ・これは、文部科学省のキャッチフレーズになっている。

- 専門部会員 ・文部科学省のスポーツ振興計画の中に、「だれもがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を形成する」という表現を用いているが、年齢的な部分を捉えての表現である。
- 作業副部長 ・「だれもが」は目的やニーズを指し、「いつでも」は時間的要素、「どこでも」は場所的要素、「いつまでも」は子どもからお年寄りまでの多世代を指すという捉え方かと思う。
- 作業部会員 ・文部科学省の文章を省略して、全て並べてしまうので分かりにくいのかかもしれない。かといって、そのまま載せてもくどくなるかと思う。
- 専門部会員 ・主語の部分がちょっと違うかと思う。
- 作業副部長 ・「だれもが」のところは、「市民」にしてもいいのでは。
- 専門部会員 ・ご意見をを受けて検討したいと思う。
- 作業部会員 ・施策 441-01 の主な取組に「スポーツ指導者や体育指導委員の養成と活躍の場の提供」とあるが、現状としては、スポーツ指導者の資格を持っている人は多いが、スポーツ指導委員会は県レベルで設置されているものであり、参加している人は少ないので、具体的事業のイメージができない。今後、市の取組として実施する見込みはあるのか。
- 専門部会員 ・インターネットを通して斡旋などしている。自主的に登録してもらおうようになっているが、全ての方に登録していただいている状況にはなっていない。できるだけ多くの方に登録していただき、情報提供をして活躍の場を設けていきたいと思っている。
- 作業部会員 ・少子化の視点で考えた時、子どもたちが地域でスポーツをする場がなくなってきたことを危惧している。例えば、私が住んでいる地区では、女子のソフトボールチームに子どもを入れたいと思っていたが、人数が揃わないのでチームがなくなってしまった状況にある。将来にわたってスポーツを親しんでいくための基礎を作ることからも、子どもたちが気軽にスポーツに触れられる機会がほしい。
- 作業副部長 ・総合型地域スポーツクラブは、中学校区に 1 つ設置することとなっているが、全国の例を見ると子どもをターゲットに実施しているところが多く、学校の部活動が発展して活動しているような状況である。各種大会はチームの基盤（学校単位か地域単位か）によって出場できるものとできないものがあるので、それを考慮すると難しい問題もある。現在は、学校同士でリンクしながら複数校でチームを作るという取組もされている。
- 作業部会員 ・現在、子どもたちが地域に入って自主的に行う運動は皆無に等しい。子どもたちは、運動などを通して多年齢の子どもと交流しながら育っていくことが大切である。地域でそのような活動をするための援助も必要かと思う。

- 作業部会長 ・学校現場においても、スポーツの二極化は大きな問題である。子どもたちが外で安心して遊べる環境が必要かと思う。
- 作業部会員 ・施策 441-02 の主な取組に「オリンピック・パラリンピック・スペシャルオリンピックスの資産をいかした・・・」とあるが、施設が限定されてしまうように感じる。
- 専門部会員 ・施策 441-03 の主な取組の「スポーツ施設の計画的な整備と有効活用」で、全てのスポーツに対応できるのか。長野市の場合、広場的なものは沢山あるが、メジャーなスポーツとマイナーなスポーツの施設の差が大きい。
- 作業部会員 ・施策 441-02 に関しては、競技スポーツの振興という目標の基に捉えているものなので、国際大会や全国大会の開催によってスポーツ活動への関心を高めていくということである。
- 作業部会員 ・施策 441-03 は、ただ施設を作るということではなく、既存施設を有効利用したり、使えるものを整備していくということである。
- 作業部会員 ・国際レベルのものだけでなく、マイナーなスポーツもできるように全般的なスポーツができるような施設を整備するという表現とした方がよいかと思う。
- 作業部会員 ・施策 441-01 の主な取組に「質の高いスポーツ指導者や体育指導委員の養成」とあり、施策 441-03 の主な取組にスポーツボランティアに関する記述があるが、スポーツ指導者や体育指導委員はボランティアではないのか。
- 専門部会員 ・体育指導委員は市の非常勤職員という位置づけであり、職務として捉えていただけたほうが良いかと思う。
- 作業部会員 ・ある地域では、体育指導委員は体裁のいい大会と都合の良い時にしか出席せず、下準備はやらないという話も聞くが、質が高いとはどういう意味か。どのように選んでいるのか。
- 専門部会員 ・体育指導委員は各地区から推薦いただいている。お話のような例もあるかと思うが、そのようなことがないように研修や講習を考えている。施策 441-03 にあるスポーツボランティアは、指導的な立場の方や大会運営をされる方を指している。

(2) 基本計画たたき台(行財政関係)について

- 作業部会長 ・前回、意見募集をしたが、あまりご意見をいただけなかったようなので、再度ご覧いただいてご意見、質問があればお願いしたい。
- ・ないようであれば、基本計画全体を通して何かあればお願いしたい。

<全体を通して>

- 作業部会員 ・各施策ごとに指標が設定されているが、主な取組は、例として挙がっているものではなく、施策の目標を実現するための重要な取組だとすると、そのような視点でもう一度内容を見直さなければいけないし、主な取組のそれぞれに指標が必要なのではないかと思う。

- 事務局 ・現在、箇条書きで並べている主な取組を統合したり精査して文章化していく作業を今後進めていく。この目標の進捗状況を見るにあたり、分かり易い指標を設定して現状値と目標値を比較しながら管理していくこととなる。また、それぞれの取組の更に細かいものは、基本計画の下の計画として、毎年実施計画を策定する予定でいるので、予算的な内容はそこに盛り込まれていく。
- 作業副部長 ・例えば、スポーツと健康づくりなど似たような取組を色々な部署で取り組んでいると思うが、それぞれを部署ごとにバラバラに発信していくのでは、市民側とするとわかりにくい。集約したりということは考えているのか。
- 事務局 ・基本的には主体となる分野への掲載となるが、同じ取組内容については、再掲という扱いを考えている。また、関連がある取り組みについては、関連が分かる形での表記を検討している。
- 作業部会員 ・放課後の居場所づくりと児童館に関する取組、あるいは、家庭教育に関する取組などは保健福祉分野と密接に関わってくる内容であるので、保健福祉分野の基本計画でどのような表現をされているのか見せてもらいたい。内容によっては教育部会としての意見を伝えたい。
- 事務局 ・そのようにしたい。
- 作業部会員 ・都市内分権によって、組織的なものが変わっていくということはあるのか。地域の組織化について、今までと違った仕組みが出てくるのか。
- 事務局 ・組織として今までと大きく変わるのかと言われるとそうではない。地域づくりを行う上で、既存の団体が集まってもう一工夫しようということを提案しているものである。この基本計画では、精神論的な方向性は謳っているが、具体的な内容は盛り込んでいない。

3 その他

<今後の日程について説明>

<事務局から、国際化に関する施策の都市整備分野から教育・文化分野への移行を

6月6日開催の総合計画審議会へ提案することについて説明>

- 作業部会員 ・国際化に向けた環境整備に関する内容は都市整備分野に残してもらうようにお願いしたい。
- 事務局 ・現在、都市整備分野で議論している体系をもう一度組み直すことも必要かと考えている。ご意見として伺いして検討したい。

以上